

令和6年度 福井市社会福祉協議会事業計画

■ 基本方針

昨春より新型コロナウイルス感染症対策が新たなステージへと移行され、本会の取り組みには、地域共生社会の実現に向けた「生活課題への対応」と「地域のつながりの再構築」が改めて求められています。

そこで令和6年度も本会では、常に“連携”をキーワードに、人と人、心と心をつなげ、支え合いながら、一人ひとりが幸せを感じ、誰もが安心して暮らすことができる地域社会づくりを進めます。

福井市から生活支援体制整備事業を新たに受託し、生活支援コーディネーターによる生活支援・介護予防の充実および重層的支援体制との連携した地域づくりを進めます。

また、防災の要素をプラスした見守り支援活動の推進、生活福祉資金・緊急小口資金等の特例貸付利用者へのフォローアップの強化、LINEでの情報提供の強化拡充を行います。

そして、身寄りのない方への「身元保証事業」、家庭等で余っている食品を集め、食品を必要としている地域のフードバンク等の生活困窮者支援団体、子ども食堂、福祉施設等に寄付する「フードドライブ事業」、文房具の寄付と必要な世帯への配布を行う「スタディドライブ事業」の実施に向けた検討を行います。

引き続き、SDGsと新型コロナウイルス感染防止に取り組みながら、各種事業活動を進めてまいります。

■ 重点目標

- 1 住民同士が支え合い、誰もが安心して暮らせる地域社会を構築します
- 2 地域福祉の課題への共感を広げ、解決につながる参加・連携・協働を進めます
- 3 権利擁護と困窮者の相談支援体制の充実を図ります
- 4 子どもたちの安全・安心の場づくりを進めます
- 5 住民に信頼される組織づくりを進めます

(令和6年度の事業については、P11の体系もご参照ください)

■ 事業計画

I 法人運営事業

1 法人運営事業

(予算) 195,592 千円

(財源) 会費収入 18,231千円、分担金収入 1,214千円、補助金収入 84,000 千円、
拠点区分間繰入金収入 2,235 千円、前期末支払資金残高 87,222 千円他

地域福祉の推進を目的とした公共性の高い団体として、事業を确实、効果的かつ適正に行うため、経営基盤の強化と事業やサービスの質の向上を図り、住民に信頼される組織運営をめざします。

(1) 法人運営の強化

- ① 三役会の開催 随時
- ② 理事会、評議員会の開催
理事会 12回
評議員会 6回
- ③ 評議員選定委員会の開催
- ④ 監事監査の実施
- ⑤ 福祉サービスに関する苦情解決の推進
- ⑥ 弁護士、会計事務所との顧問契約
- ⑦ ホームページ、SNSによる情報提供

(2) 中期経営計画の推進

進行管理会議の開催 2回

(3) 人材育成

- ① 職員研修の実施
- ② 外部研修の計画的な実施
- ③ 人事考課の実施

(4) 労働安全衛生対策

- ① 衛生管理者の設置
- ② 産業医の委嘱
- ③ 衛生委員会の開催
- ④ ストレスチェックの実施

(5) 法人連携の推進

- ① 福井県内社会福祉法人連携事業推進協議会への参加
- ② ふく福くらしサポート事業の実施

(6) 県外社協との連携の推進

- ① 金沢市・富山市社協との相互応援・交流
- ② 岐阜市・奈良市社協との災害時における相互支援協定

(7) 他団体・機関との連携の推進

- ① 福井刑務所と社会貢献作業についての相互支援協定
- ② 市内ライオンズクラブとの災害支援協定締結に向けた協議の推進

(8) 会員会費募集の強化

住民や企業・団体等に加入を呼びかけ、自主財源の確保に努めます。

- ① 一般会費
- ② 賛助会費
- ③ 特別賛助会費

(9) 共同募金運動への協力

福井市共同募金委員会の事務局を担い、運動への支援を行います。

- ① 運営委員会の開催 3回
- ② 審査委員会の開催 1回
- ③ 募金運動（一般募金、歳末たすけあい募金）の実施

2 基金運営事業

(予算) 3,777千円

(財源) 受取利息配当金収入 1,495 千円、基金積立資産取崩収入 2,280 千円他

地区社協活動 啓発・ふれあい事業、オープンサロンふらっとベル事業の財源として、地域福祉基金を活用します。

また、能登半島地震で被災に遭った輪島市社協への職員派遣費として、災害ボランティア基金を活用します。

II 地域福祉推進事業

1 地域福祉活動推進事業(SDGs 目標 3.11.16.17)

(予算) 50,198 千円

(財源) 会費収入 26,607千円、寄付金収入 148 千円、負担金収入 94千円
拠点区分間繰入金収入 23,349 千円他

「力を合わせて 地域福祉で安心して暮らせるまちづくり」をめざして、地区社協を核に、福祉委員、民生委員児童委員、自治会などの関係者ととともに地域福祉活動を進めます。

第4次地域福祉活動計画の事業を推進するため、取り組みスケジュールに沿って、企画実施していきます。また、この活動計画に係る地域福祉活動推進会議を開催して、進行管理、評価を行い、改善につなげていきます。

(1) 第4次地域福祉活動計画の推進

- ① 第4次地域福祉活動計画（18項目）の取り組みの準備、企画、実施
- ② 第4次地域福祉活動計画に係る地域福祉活動推進会議の開催

(2) 地区社協の育成支援

- ① 地区社協ブロック担当制による支援強化、会議への参加・支援
- ② ブロック会議等を通じた情報交換と活動の充実
- ③ 課題解決ミーティングの開催
- ④ 地区社協運営・事業推進のための活動費の助成
- ⑤ 福祉への理解を広めて新たな人材を発掘する事業の推進

(活動計画 No.1)

- ⑥ 地域の見守り、支え合いへの理解と共感を育む事業の推進

(活動計画 No.4)

- (3) ひとり暮らし高齢者等の見守り支援活動の推進強化
- ① 新任福祉委員委嘱式及び研修会の開催 (活動計画 No.4.15)
 - ② 見守り強化のための市や関係機関との協議
 - ③ 地域包括支援センター等関係機関との連携強化
 - ④ 地区社協単位での福祉委員、民生委員児童委員、自治会長、保健衛生推進員及びその他見守り関係者の情報交換の場の設定
 - ア 見守り支え合い情報交換会の開催
 - イ 福祉委員及び見守り関係者の合同研修会の開催
 - ウ 市危機管理課との連携(福井市避難支援プラン)
 - ⑤ 自治会型デイホーム、食事サービス事業を通じた見守り活動の推進
 - ⑥ 支え合いマップ作成のためのツールの提供及び作成の支援
(活動計画 No.4.15)
 - ⑦ 福祉委員ハンドブックの活用
 - ⑧ 福祉委員スキルアップ研修会の開催(活動計画 No.4)
 - ⑨ 「福井市あんしん見守りネットワーク事業」への協力
- (4) 地区社協連絡協議会、ブロック地区社協の育成支援
- ① 会長情報交換会の開催
 - ② 地区社協活動詳細版説明会の開催
 - ③ 見守り活動に関する研修会の開催
- (5) 「地区社協活動 啓発・ふれあい事業」の実施
- (6) 各種地域福祉活動の推進
- ① 県介護実習普及センターとの連携による介護講習会・介護予防講習会への協力
 - ② 市地域包括ケア推進課との連携によるひとり歩き模擬訓練への協力
 - ③ 中高生向けまちづくりワークショップの実施(活動計画 No.9)
 - ④ たわらまちバリアフリー体験会の実施(活動計画 No.9)
(カーフリーデーふくいの一環)
 - ⑤ 地域福祉活動発表会の開催(活動計画 No.11)
 - ⑥ 地域福祉活動に参加する30～50歳代を増やす事業の推進
(活動計画 No.12)
 - ⑦ LINEを活用した発信力の強化×交流の場づくり事業(活動計画 No.13)
 - ⑧ 地域防災を考える講座の開催(活動計画 No.16)
 - ⑨ 福祉サービス事業者との情報交換会の開催(活動計画 No.16-18)
- (7) 社会参加、交流の場づくり(活動計画 No.10)
- ① 中央いきいきサロン(毎週金曜日 13:00～15:30)
 - ② オープンサロンふらっとベル(毎週火～木曜日 13:00～15:45)
- (8) 重層的支援体制整備事業への協力
福井市が進める福祉総合相談体制と連携・協働し、地域づくりの体制整備、社会参加の支援体制整備の一部を担う。

2 自治会型デイホーム事業(SDGs 目標 3.11)

(予算) 27,080 千円

(財源) 受託金収入 26,000 千円、拠点区分間繰入金収入 1,079 千円他

地区ごとに配置した地域支え合い推進員が住民参加型の介護予防事業を、毎月

5回以上開催します。地区社協等多くの住民や関係者の協力を得ながら内容を充実し、参加者の増加をめざします。

- (1) 自治会型デイホーム協力者研修会の開催
- (2) 職員研修会・定例会の開催
- (3) 自治会型デイホーム利用促進事業としての講座開催
- (4) 介護予防体操の推進
- (5) 自治会型デイホーム会場での「福井市元気度調査」の実施及び普及啓発
- (6) 認知症サポーター養成講座の開催（随時）

3 ふれあい食事サービス事業(SDGs 目標 3.11)

(予算) 4,243千円

(財源) 会費収入 2,557千円、受託金収入 1,685千円他

ひとり暮らし高齢者等を対象に、高齢者の健康の増進や孤独感の解消、安否確認の一環として配食や会食会を地区ごとに実施します。

- (1) 地区社協単位での配食及び会食会の実施
- (2) HACCP（ハサップ）の考え方を取り入れた衛生管理及び使い捨て手袋とマスクの配付
- (3) 地域福祉リーダー研修会の開催

4 ボランティアセンター事業(SDGs 目標 4.10.11.17)

(予算) 6,995千円

(財源) 会費収入 804千円、補助金収入454千円、拠点区分間繰入金収入 5,596千円他

(1) ボランティア活動推進事業

ボランティア活動への関心や参加をより高めるための情報発信とボランティア団体が活動しやすい環境づくりを行います。

また、地域の身近なところで福祉教育を推進するための講座や企画を行います。

- ① ボランティア活動に関する情報発信
ホームページ、フェイスブックでのボランティア活動紹介
- ② 福井市民福祉会館福祉関係ボランティア団体の登録更新
- ③ 雪かきボランティア活動の実施

(2) つながりの輪づくり推進事業

人と人とのつながりを大切にした地域ぐるみの支え合いを推進するための講座や企画を、新型コロナ対策を講じて行います。また、幅広い世代に向けたボランティア活動への関心や参加を高めるための情報発信を行います。

- ① お話し相手ボランティア養成講座の開催
- ② ブックサイクルと絵本の読み聞かせの開催（活動計画 No.5）
- ③ ボランティアコーディネーション研修会の開催（活動計画 No.17）
（市総合ボランティアセンターとの共催）
- ④ 自治会型デイホーム向け特技・技能ボランティアのコーディネート

- ⑤ ボランティア情報紙の発行（年 5 回）
- ⑥ 障がい者の文化・芸術活動の情報発信（活動計画 No.8）

（3）福祉教育推進事業

学校や地域、家庭、ゲスト講師などと連携して福祉教育を推進し、「共に生きる力」を育みます。

- ① 子ども福祉委員事業の実施（活動計画 No.3）
- ② 市教職員目的別研修の実施
- ③ 小・中・高等学校を対象とした福祉教育の推進
総合的な学習の時間を実施する小・中・高等学校への支援
- ④ 児童・生徒のキャリア教育プログラムの実施
- ⑤ 地域（まち）の担い手プロジェクトへの協力

5 共同募金配分金事業(SDGs 目標 11)

（予算）6,980千円

（財源）一般募金配分収入 6,725 千円、歳末たすけあい配分収入 150 千円他

福井市共同募金委員会からの助成を受けて、以下の事業を実施します。

（1）広報啓発事業

- ① ボランティア情報紙の発行（再掲）
- ② 社協だより「まごころ」の発行と全戸配布（年 4 回）
- ③ 地区社協活動 啓発・ふれあい事業への助成

（2）見守り支援事業

- ① 福祉委員活動推進事業補助金の交付
- ② 福祉委員スキルアップ研修会の開催（活動計画 No.4）
- ③ 地域支え合いマップの作成

（3）地域福祉活性化事業（地区社協への助成）

（4）歳末たすけあい配分事業

- ① 地域支え合いマップの作成（再掲）
- ② 障がい者ふれあい交流事業への助成

（5）緊急災害援護配分事業

6 日常生活自立支援事業(SDGs 目標 10.11)

（予算）18,593 千円

（財源）受託金収入 14,264 千円、事業収入 1,621 千円、
拠点区分間繰入金収入 1,752 千円、前期末支払資金残高 956 千円

認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者など判断能力が不十分な方を対象に生活支援員を派遣し、福祉サービスの利用手続きや金銭管理の手伝いをする事によって、安心して生活できるよう支援します。必要に応じて成年後見制度に適切につながります。

- （1）福祉サービス利用援助の実施
- （2）日常的な金銭管理サービスの実施
- （3）書類等預かりサービスの実施
- （4）連絡会・研修会への参加

7 生活福祉資金貸付事業（SDGs 目標 1.2.3）

（予算）17,378 千円

（財源）受託金収入 17,378 千円

- （1）失業者世帯に対する総合支援資金、低所得世帯・障がい者世帯・高齢者世帯に対する福祉資金、教育支援資金等の貸付と償還指導
- （2）生活困窮者自立支援相談窓口等関係機関との連携、連絡、調整
- （3）緊急小口資金等の特例貸付の借受人へのフォローアップ支援

8 法人後見事業(SDGs 目標 10.11)

（予算）2,414千円

（財源）会費収入 1,754 千円、後見報酬収入660千円

法人後見事業を実施し、日常生活自立支援事業とあわせ、判断能力が低下した方の権利擁護を推進します。

9 ふくい嶺北成年後見センター運営事業(SDGs 目標 10.11)

（予算）18,800 千円

（財源）受託金収入 18,800 千円

ふくい嶺北成年後見センターを受託し、嶺北7市町（福井市・勝山市・鯖江市・永平寺町・池田町・南越前町・越前町）で構成するふくい嶺北圏域において、権利擁護支援の地域連携ネットワーク作りの中核機関業務を担います。

- （1）相談業務
権利擁護に関する課題がある、成年後見制度の利用を考えたい場合などの相談に対応します。（予約制）
- （2）適正運営委員会の開催（受任候補者の調整）
適正運営委員会を開催し、構成市町またはふくい嶺北成年後見センターが必要と認めた者に対して受任候補者の調整を行います。
- （3）普及・啓発
住民向け講演会を開催します。（年1回）
出前講座（住民又は行政、福祉、医療職等への研修等）に講師として職員を派遣します。
リーフレット等を作成し、構成市町と協力して広報活動を行います。
- ⑨（4）市民後見人への支援
市民後見人が行う後見業務に関し、日常的な相談に対応します。
市民後見人の推薦依頼があった事案に対して、適切な推薦業務を行います。
- ⑨（5）市民後見人バンク登録者への支援
市民としての特性を活かした後見活動を行う権利擁護の担い手を養成するため、市民後見人バンク登録者を対象としたフォローアップ講座を開催します。（年2回程度）

⑩ 生活支援体制整備事業(SDGs 目標 3.11)

(予算) 50,072 千円

(財源) 受託金収入 50,072 千円

地域共生社会の実現のため、高齢者が住み慣れた地域で自立した日常生活を続けるために、第2層地域支え合い推進員を配置し、生活支援体制の整備を構築し、多様な日常生活上の支援体制の充実・強化及び高齢者の社会参加の推進を一体的に図ります。

- (1) 地域のニーズと資源の現状の見える化、問題提起
通いの場、居場所等地域の社会資源を把握します。
- (2) 地縁組織等多様な主体への協力依頼等の働きかけ
- (3) 関係者のネットワーク化
- (4) 目指す地域の姿・方針の共有、意識の統一
- (5) 生活支援の担い手の養成やサービスの開発
- (6) ニーズとサービスのマッチング
- (7) その他生活支援体制整備の構築に向けた取組

Ⅲ 子ども・子育て支援事業

1 児童館事業(SDGs 目標 16)

(予算) 228,588 千円

(財源) 受託金収入 193,597 千円、サービス区分間繰入金収入 17,365 千円、
前期末支払資金残高 17,588 千円他

児童館の指定管理者として、地域の関係団体との連携を図りながら、子どもたちが安全・安心に過ごすことができる居場所づくりに努め、適切な施設運営を行います。

(1) 児童館事業の推進 (指定管理受託 24 児童館)

- ① 児童館館長会議の開催 (年 6 回)
- ② 児童館運営委員長会議の開催
- ③ 職員研修の実施
 - ア 児童館長研修
 - イ 児童厚生員研修
 - ウ 児童館長・厚生員共通研修
- ④ 広報・啓発活動の推進
 - ア 児童館専用ホームページによる行事紹介
 - イ 児童館パンフレットの発行
 - ウ 児童館だよりの自治会への回覧
 - エ 関係機関との連携による広報啓発活動
 - オ 出前児童館の実施
- ⑤ 相談機能の強化
- ⑥ 地域の諸団体、公民館等と連携した事業の取組み
- ⑦ 学校、保育園と連携した事業の取組み
- ⑧ 中・高・大学生のボランティアの受入促進
- ⑨ 児童館でのアンケート実施
- ⑩ 児童館施設修繕・保守点検業務の実施
- ⑪ 児童館の安全対策
 - 避難訓練の実施 (毎月)

(2) 「げんキッズ育成事業」の受託 4 か所

「さくらじどうかん」(春山小学校内)、「あじさいじどうかん」(足羽小学校内)、「さつきじどうかん」(旭小学校内)、「あさがおじどうかん」(麻生津小学校内)を運営し、主に乳幼児や小学生を対象とした地域の居場所づくりを行います。

2 放課後児童クラブ事業(SDGs 目標 16)

(予算) 238,487 千円

(財源) 受託金収入 207,167 千円、その他の収入 1,152 千円、
前期末支払資金残高 30,168 千円

放課後児童クラブでは、昼間、保護者のいない小学校の留守家庭児童を対象に放課後の生活の場を提供し、児童の健全育成活動を行います。

また、放課後児童支援員の処遇改善を図り人材確保に努めるとともに、資格取

得者を増やし、研修を通じて放課後児童クラブに従事する職員のさらなる資質向上を図ります。

- (1) 安全対策
災害・不審者対応の避難訓練の実施
- (2) 支援員の資質向上
 - ① 放課後児童支援員認定研修の受講促進
 - ② 放課後児童支援員研修の開催
 - ③ キャリアアップ処遇改善事業の実施
 - ④ 放課後児童クラブ支援員等処遇改善臨時特例事業の実施
- (3) 児童クラブのしおりの発行
- (4) 気がかりな児童やその保護者に対する支援の強化
放課後児童クラブカウンセラー派遣事業の実施

3 子育てひろば事業(SDGs 目標 16)

(予算) 280 千円

(財源) 拠点区分間繰入金収入 280 千円

福井市内の児童館で毎週木曜日に、乳幼児とその家族を対象に、遊びの場、交流の場として、子育てひろばを開催し、子育て家庭を支援します。

開催日 毎週木曜日 10:00~11:30

会場 福井市内 28 児童館・じどうかん

※さくらじどうかんは、毎週木曜日 12:30~14:00

※あじさいじどうかんは、第2第3土曜日 10:00~11:30

※すぎのこ児童館は、毎週土曜日 10:00~11:30

IV 駐車場運営事業

(予算) 260 千円

(財源) 事業収入 240 千円、前期末支払資金残高 20 千円

収益事業として駐車場の運営を行います。

V 自動販売機設置運営事業

(予算) 168 千円

(財源) 事業収入 165 千円、前期末支払資金残高 3 千円

収益事業として自動販売機を設置します。